



# 大分県ボラ連だより

## NIHO

# 豊

第21号

大分県ボランティア連絡協議会  
平成29年5月31日発行

## 熊本・大分地震 について

由布市ボランティア連絡協議会

土 師 敬 士

平成28年4月15日の深夜、ベッドに入って眠りについて間もなく、ドカン、グラグラと強烈な揺れがやってきた。地震だ。

落ち着け、と心の中で叫んだ。電気は消え、真っ暗である。落ちてくる物がないか。タンスの上から物が落ちてこないか心配だった。揺れが収まると、枕元に置いていた懐中電灯をどうにか探し出し、玄関に向かった。二つある靴箱のうち、固定していた靴箱は無事だったが、固定していなかった靴箱は完全に倒れてしまっていた。

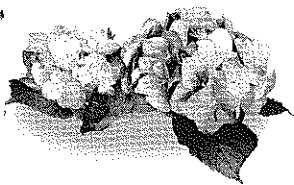
いったん落ち着いて地震の情報を入れようとしたが、防災無線や防災ラジオから地震の広報は入らず、しばらくして地区の消防団員が「由布院小学校が避難場所です。」と

直接広報に来てくれた。だが、自宅では犬を飼っている。愛犬を連れての避難は出来ない。そのため、私は家に留まることにし、妻は義母と一緒に小学校に避難することにした。しかし、避難した妻は小学校の床のコンクリートに根をあげ、結局、一晩で帰ってきてしまった。

数日経ち、地震への対応や激甚災害の指定が受けられるのが気になったので、由布市湯布院庁舎に行き、聞いてみることにした。しかし、庁舎にいる職員は、激甚災害の指定の事は解らずで、県にずっと問い合わせをするような状態だった。今後出てくる事案にうまく対応できるのか。心配になった私は、ゆふいんラジオの知り合いに、市民の人に役立つ情報の放送を流してもらおうと共に、被災者に対する義援金・由布市に対する支援金の放送を直接お願いした。市の商工観光課長にも、風評被害が発生するから対策を考えた方が良いと伝えた。

マスコミテレビ局はどうしても被災したことを中心に放送する。真実を放送してもらうため、由布院駅や由布見通り、湯ノ坪街道に足を運び、被害が少なく普段どおり営業している商店もしっかり取材するよう、テレビ局四局を捕まえ、お願いをした。

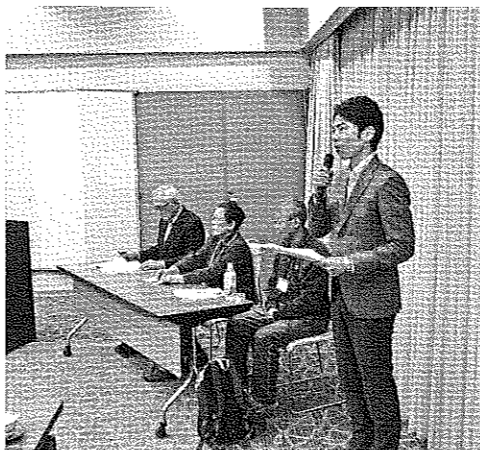
また、由布市社会福祉協議会湯布院事務所にて災害ボランティアセンターが開設されているという情報が入ったので、行って見た。事務所の人やボランティアの人達が既に活動を始めていた。様々な要望が挙がってくるのが充分考えられたため、災害ボランティアの受け入れや派遣は、延長してなるべく長く行ってほしいことを伝えた。



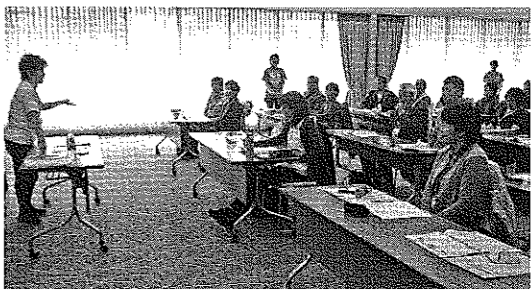
### 平成28年度 大分県市町村ボランティア連絡協議会 合同研修会開催

平成28年11月30日～12月1日に、ホテル別府パストラルにおいて、合同研修会を開催しました。

1日目は、大分大学福祉健康科学部講師の川村岳人先生の「困っている人を見過ごさない地域をつくるには」との講義と、ボランティア団体の活動発表を行いました。活動発表は、大分市の松が丘シルバーボランティアの谷尾英照さん、佐伯市ボランティアの田中生代さん、玖珠町ボランティアの衛藤研一さんからそれぞれ報告があり皆さんのボランティア活動の参考となりました。



また、翌日は「笑い」とともにより良い人生を送ろう」と題して、モジユンダール由美子さんの講演で笑いヨガの実践を行い体を動かしての実習で参加者の皆さんから好評をいただきました。



### 県内各地の ブロック別研修会報告

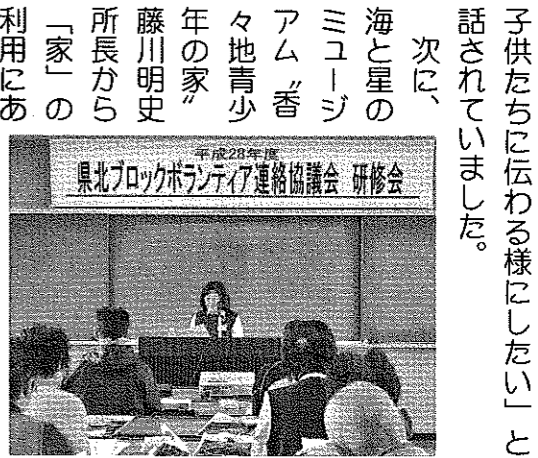
#### 東北ブロック

平成28年10月25日(火)、大分県立香々地青少年の家で、中津市、宇佐市、豊後高田市から23名の参加のもと開催しました。

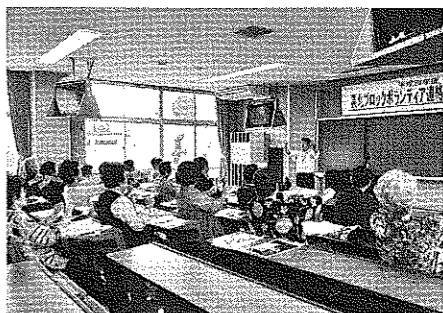
開会行事後、平成24年設立の15グループから成る「読み聞かせ友の会」事務局の河野俊恵さんより活動報告をして頂き「作品の内容や作者の思いを自分のものにして、



東北ブロックボランティア連  
にこれからは元気にボランティア活動をすべく、身体を少し鍛え



子供たちに伝わる様にしたい」と話されていました。次に、海と星のミュージアム、香々地青少年の家、藤川明史所長から「家」の利用にあたっての説明があり、まず施設の案内をして頂き、青少年が自然環境の中で野外生活や団体宿泊を通じて、規律、協同、友愛、奉仕等の尊さを体験学習してもらい、健康でたくましい心身を成長させる目的に設立された趣旨を話されました。それから30分間会員の方々



て頂くのに「ノルディックウォーク」の指導を受け、とても楽しんだ。最後に、「プラネ

タリウム星空観察会」を体験し、少しは心が癒されたかな? 昼食は、「長崎鼻BKネット」で周防灘を見ながら食事をし、情報交換を致しました。

今回の東北ブロック研修会は、県立の施設での開催でした、この施設のPRを兼ねて研修を実施しました。

是非、香々地青少年の家へどうぞお越しください。



(豊後高田市・岡村田鶴子)

### 別府東速ブロック

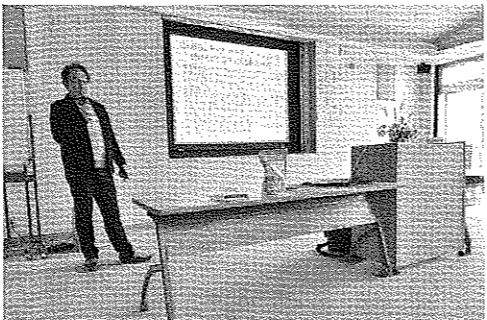
杵築・国東  
日出・姫島

平成28年11月18日(金)、別府東速ブロック研修会を日出町福祉保健センターで開催しました。研修会には別府市・杵築市・国東市・日出町でボランティア活動をされている方、社協職員も含め43名の参加となりました。

基調講演では、講師にNPO法人レスキューサポート九州 代表理事 木ノ下勝矢氏をお招きし、「防災ボランティアの役割」と「防災・減災を目指して」の演題で講演いただきました。

近年頻発する自然災害。被災を最小限にとどめるためには、自前準備(対策)が重要です。何ができて何に助けが必要か、またどのようなに誰がサポートするかなど。こうした事前準備は地域の繋がりに関り、その繋がりに

によって災害復旧の早さが大幅に変わっていくことでした。被災時に急遽協力をを行うことは難しく、平常時からこうした顔の見える関係を維持しつつ、災害時に彼らの活動がどのように活かせるかを日頃から一緒に考えていく活動が必要となることを学びました。



近年では大規模災害も多く、近隣の市町村との連携が必要なケースもあります。そのような意味において、近隣でボランティア活動している皆さんが一堂に会しお話をいただいた事は貴重でした。講演終了後は、ランチミーティング。社会福祉協議会職員による「南阿蘇支援の報告」を社会福祉法人大分県社会福祉協議会ボランティア市民活動センター所長 池永哲二氏よりいただきました。い

社協職員が災害時どのような動きを行うのか、被災者支援のための災害ボランティアセンターとはどのような役割なのか、見えにくい活動を報告として可視化していただきました。今年度は災害時を考えることに特化したことにより、交流という部分では若干弱い部分もありましたが、平素からの繋がりが命を救うことになるという共有ができたことにより、今後の活動や地域でのつながりづくりに活かしていただければと思います。

### 大分ブロック

大分・由布

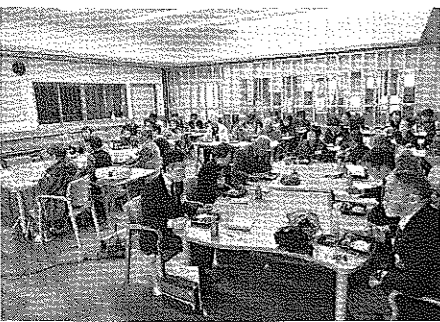
平成28年7月7日(木)、大分地区ブロック大会を湯布院福祉センターで開催しました。大分市以外の会場ではこの大会が初めてでしたが、大分市、由布市から170名と従来の2倍弱の会員が参加しました。

大分県ボランティア連絡協議会会長を兼ねる幸大分市ボラ連会長、日野由布市ボラ連会長の開会挨拶に続き、県社協の元県ボラ所長甲斐氏から今年度設立したフードバンクセンターについて説明と協力

依頼がありました。続いて行われた講演では、講師にお呼びした旅館玉の湯会長の溝口薫平氏より「昭和50年中部地震と今回の地震に対する取り組み」と題して講演をいただきました。



溝口氏は仲間や地元農家の方々とともに自然を活かした魅力的な町づくりに取り組む中、50年の地震では直下型で町全体が大きな被害を受け、風評もあって観光客が減ったが、その仲間たちとゆいん音楽祭、湯布院映画祭、牛食い絶叫大会等のイベントを企画成功させ、早い時期に以前の賑わいを取り戻したそうです。そして昨年の大きな地震では、50年より被害は小さかったが一部の旅館の商品棚の散乱状況等とが家屋等の被害の様子が見え、テレビで全国に放映され、湯布院は危ないとの風評で、ホテル客



このように誰がサポートするかなど。こうした事前準備は地域の繋がりに関り、その繋がりに



のキャンセルが相次ぎ観光に打撃を与えられました。しかし、観光客を取り戻すために50年地震を経験に、被害は少なく町は安全であることを町を挙げて地道に各方面にPRし、その甲斐あって最近では観光客が増え、以前の賑わいに戻りつつあるとのことでした。経験から常に仲間と地元を大切に、何か事が起これば希望とアイデアをもって取り組めば明日が開けることを話していただき感激しました。

病院支援、環境保全、農作業支援、イベント支援等で多岐にわたっており、活動の様子子が分かり易く映像で紹介されました。



由布地区の「湯布院ガイドあざざり会」は観光客を相手に町内の名所・史跡を案内する観光ガイドを目的に発足。観光ガイドルトは一般の観光では見過ごされている名所・史跡を主に取り入れガイドを行っており、それらの個所が映像で紹介されました。その後希望者には観光ガイドルトをガイド数名で案内。実際に体験して戴き喜ばれました。

またまた嬉しく思いました。その後、皆さんが待ち焦がれた「変面シヨウ」



国家機密にも指定され、門外不出とされた変面では、顔が変わる瞬間、何度見ても「わっ」と驚かされるものがありました。

面白マジックでは、臼杵石仏になりぎり、摩訶不思議な手品を見せていただき、お腹を抱えて大爆笑。

今日の日、最高の良い日になったと思います。

そして、若い職員に教えられたことは、帰り着くとすぐにお礼の電話を頂いたこと。皆様も無事に帰り着きましたらぜひ、開催市に電話をしてあげてくださいね。



70過ぎた位の方がなと見直してしまっています。「死ぬまでボランティア活動に頑張りたい」の言葉に

**県南ブロック** 臼杵・津久見・佐伯

12月14日 年末の迫る中、県南三市ブロック研修会が、臼杵市社会福祉センター大広間で行われま

病院支援、環境保全、農作業支援、イベント支援等で多岐にわたっており、活動の様子子が分かり易く映像で紹介されました。

講演に続いて大分地区から2団体、由布地区から1団体の活動発表がありました。まず大分地区の「大分市ボランティア連絡協議会」からは市内ボランティア団体290団体の内の115団体と個人ボランティア7名で会を構成しており、会員相互の交流と情報交換、活動技術向上を目的とした研修会を年3回開催。研修会では講師を招いて講演会を行っており、活動の向上に役立てていることが映像で紹介されました。

また、「ボランティアみちの会」では、10年前に発足して現在30名で年間2600時間活動。活動内容は高齢者支援、障がい者支援、

**豊肥ブロック** 豊後大野・竹田

豊肥ブロック研修会は平成28年11月22日(火)に竹田市総合社会福祉センターの多目的ホールで開催し、竹田市、豊後大野市のボランティア団体及び個人ボランティアの方々56名が参加しました。

開会行事の後、4月地震により被害を受けた南阿蘇に対する支援「竹田ベースキャン」について竹田市社会福祉協議会の水野匡也課長様より講演を頂きました。

ベースキャンの成り立ちや経緯、構成団体、具体的活動や豊後大野市社会福祉協議会からの支援などについて写真を交え分かりやすく説明して頂きました。参加者から「地元社協だけではなく、様々な構成団体関わっていたことが理解できた」という感想を頂きました。

講演後に、「竹田ベースキャン」に対する支援をした複数団体の中から、「荻町ボランティアの会」の実践報告を受け、「あなたが出来る災害時のボランティア」について7グループに分かれてワークを行いました。各グループでは、それぞれ所属する団体が違つ中で、「自分

**日田・玖珠ブロック** 日田・玖珠・九重

当日は、快晴。日田市、玖珠郡のボランティア会員の皆さん96名



がご参加くださり、開催されました。日田ボラ連財津会長、市職員全員が、いち

の団体に出来ること」について活発な意見交換が行われました。また参加者に平成24年の竹田水害の被災者が参加して頂いたことで、被災者としての意見についての話もあり、ワークの時間が足りないくらいでした。

その後の交流会では、参加者一同で昼食をとりながら日頃のボランティア活動について意見交換を行いました。隣接する自治体として日頃から顔の見える関係を大切にして「共に支え合う」という気持ちの確認をすることが出来るなど有意義な研修会となりました。

ボランティアの取り組みの紹介、九重ボラ連進会長から日田玖珠三地区の絆のお話をいただきました。まず、アトラクションは華やかな法被に身を包んだ、華麗な女性グループ中塚シスターズのスコップ三味線。ノリのいい音楽とパフオーマンスで、やや緊張の面持ちだった会場の雰囲気、一気に盛り上がり、拍手と歓声に包まれました。



次に活動報告は今年結成20年を迎えた人形劇ビキタロが行いました。親子の親子の子育てを、巧みな人形さばきで心温まるストーリーに、会場の皆さんが童心に帰ったようなやわらかい笑顔になり、やさしい空間に包まれました。

**第13回 大分県ボランティア NPO 推進大会開催**

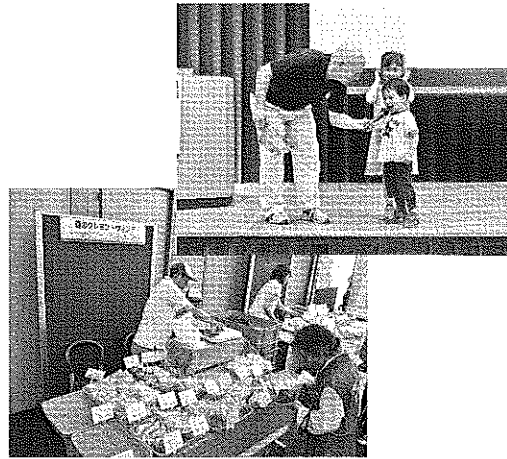
去る8月20日(土)に別府ビーコンプラザ レセプションホールほかにおいて第13回大分県ボランティア・NPO 推進大会を開催いたしました。

午前の部では、ボランティア・NPOの方々に活動報告を行っていただき、午後の部では2002年に日本で初めてのフードバンクを立ち上げたチャールズ・マクジ

(会長 衛藤研一)

ルトン氏に「フードバンクの革新をうながす」と題してご講演をいただきました。

会場では施設の製品の展示即売や、各市町村の活動パネルの展示のほかフードドライブも実施し、和やかな雰囲気の中に大会を行うことができました。



**(活動報告)**

報告① 『私たちの1年間のお陰様活動』

明豊高等学校インターアクト部  
報告② 『ひきこもり家族が直面する困難』

NPO法人大分ステップの会

報告③ 『熊本地震く大分大学医学部学生有志く活動報告』

熊本地震く大分大学医学部学生有志く

報告④ 『DV被害者支援く私たちにできることく』

特定非営利活動法人女性と子ども性と人権を考える市民ネットワーク えばの会

報告⑤ 『子ども食堂を開設して』  
あんのん子ども食堂

**平成29年度事業計画**

**1 会議の開催**

(1) 総会の開催

■ 期日 平成29年5月18日(木)  
13時10分

■ 場所 大分県総合社会福祉会館4階 大ホール

■ 内容 ①平成28年度事業報告  
並びに決算について

② 監査報告

③ 平成29年度事業計画(案)並びに予算(案)について

**(2) 理事会の開催**

① 第1回理事会

平成29年5月18日

大分県総合社会福祉会館

② 第2回理事会

平成29年10月19日

大分県総合社会福祉会館

③ 第3回理事会

平成30年3月予定

大分県総合社会福祉会館

**2 研修事業の実施**

(1) 県レベルの大会・研修会の開催  
会員相互の連絡・交流、情報交換及び知識・技術の向上のために研修を実施する。

① 研修会(講演会)の実施  
総会後に開催する。

■ 期日 平成29年5月18日(木)  
14時

14時

■ 場所 大分県総合社会福祉会館4階 大ホール

■ 講演 テーマ「認知症を」  
理解しよう!

② 合同研修会の実施

県内で1泊2日の研修会を開催する。

■ 期日 平成29年11月28日～29日

■ 場所 別府市  
ホテルニューツルタ

③ 大分県ボランティア・NPO推進大会の運営協力及び参加

第14回大分県ボランティア・NPO推進大会の参加、運営等に主催者として協力する。

■ 期日 平成29年10月31日(火)

■ 場所 大分市 トキハ会館

(2) ブロック別研修会

県内を6ブロックにおいて、研修会を実施する。

■ 期間 平成29年7月

平成30年2月頃まで

■ 場所 各ブロック市町村内

**3 会報誌の発行**

大分県ボランティア連絡協議会だより「二豊」を年に1回発行し、情報の提供・啓発を図る。

**4 各種事業・活動への協力等**

(1) 心くしまつ子応援プロジェクトの運営支援

募金活動や来県当日の運営支援を行う。

■ 期日 平成29年7月21日(金)  
25日(火) 4泊5日

**(2) 各種情報提供**

「ボランティア全国フォーラム2017」への参加案内

■ 期日 平成29年11月18日(土)  
19日(日)

■ 場所 広島県福山市を中心とした、岡山県の一部を含む備後圏域

**事務局**

**大分県**

**ボランティア連絡協議会**

〒870-0907

大分市大津町2丁目1番41号

大分県社会福祉協議会

大分県ボランティア・市民活動センター内

TEL: 097-558-3373  
FAX: 097-558-1296